



旭川市立緑が丘小学校 学校通信

緑小だより

令和3年11月30日（火）発行

学校教育目標

考える子ども
豊かな子ども
強い子ども

直接的な体験が育むもの

校長 石 塚 睦

窓外は、すっかり冬景色となりました。まだ雪遊びには少し足りない積雪ですが、休み時間になると、子供たちはグラウンドへ飛び出し、雪をかけ合い、雪玉を投げ合うなど、季節の移り変わりを確かめ、自然の変化を体感しています。ICT化が急速に進む昨今にあって、仮想空間や疑似体験が日常的なものとなろうとしています。しかし、かすかな雪のにおいや手に伝わってくる鮮烈な雪の冷たさ、つるつるに凍った路面を歩くときの感覚など、豊かな感性や表現力、洞察力などは、このような直接的な体験によって育まれるような気がします。



11月30日と12月1日の両日、延期となっていた学芸会を実施いたします。楽器を演奏したり、声を合わせて歌ったり、体を動かして表現したりすることも直接的な体験です。感性や表現力の伸長に繋がる学芸会になると思っています。しかし、今年は学年ごと、ご観覧も各ご家庭2名までに制限しての開催といたしました。けれども、そんな状況にあっても子供たちと教師のモチベーションは変わりません。この1か月間、より完成度を高めるために気持ちの一つにして練習に打ち込んできたことは、すでに感動ものです。ステージに立つ子供たちには、一途に取り組んできたことに対する自信に加え、力を尽くしてやり遂げたことへの充実感も感じてもらいたいと願っております。

各ご家庭との連携のために

今月実施した「保護者との懇談」と「アンケート調査」では、様々なご意見やご要望をいただきました。コロナ禍でご家庭と学校の情報の交換が滞る状況が続いておりましたので、大変貴重なご意見として受け止めております。特に、日常の指導に関することは、各学級で直ちに改善を進めております。また、コロナ対応につきましては、今後も子供たちの安心と安全を最優先にして適切に判断してまいります。さらに、老朽化している校舎や施設の営繕、1学級の児童数などについては、直ちに対応は難しいものの、関係機関に対して強く要望を上げてまいります。

これからも何かお気付きのことなどがございましたら、いつでも、どんなことでもお声をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

「がんばりなわとび」開始!

冬場の体力向上や持久力・忍耐力を養うことを目的として、11月から「がんばりなわとび」の取組を全校で始めました。朝学習の時間や体育の時間を使って各学年ごとに体育館で行っています。期間は、来年の2月18日までとなります。「なわとびチャレンジカード」を使いながら、自己目標達成に向けて、額に汗しながら一生懸命になわとびを行っています。



3年生校外学習(16・17日)

3年生がグリーン(総合的な学習)の学習で、緑が丘商店街にあるお店の魅力を調べるために見学を行いました。訪れたお店や施設の方には、お忙しいにも関わらず、とても丁寧に対応していただき感謝しています。今回の訪問で得た知識や情報を使いながら、緑が丘商店街の魅力やよさを、まずは3年生同士でプレゼンテーションを行った後で、地域の方々に発信していく取組を進めていきます。



12月の学校行事

1	水	学芸会(4・5・6年) 交通安全街頭指導 さわやかあいさつ DAY
2	木	朝会
3	金	読み聞かせ⑦ 冬のお楽しみ会(特支)
8	水	4年校外学習(旭川市博物館)
9	木	租税教室(6年)
13	月	6年卒業制作(3・4校時)
15	水	プラタナス集会
21	火	学力検査
24	金	2学期終業式
25	土	冬季休業(~1/13)
29	水	学校閉庁日
30	木	学校閉庁日
31	金	学校閉庁日(~1/3)

遊びの広場(10日)

2年生が生活科で「遊びの広場」を行いました。自分たちで手作りおもちゃを作成し、1年生を招待してそのおもちゃで遊んでもらうという学習内容です。

はじめは、少し戸惑っていた様子も見られましたが1年生を案内したり、遊び方を説明したり、ルールを丁寧に教えたりとお兄さん、お姉さんぶりを発揮していてとても頼もしく感じました。1年生の「とても楽しかった」という大満足の様子をみて、2年生も充実感や達成感を得た学習でした。



薬物乱用防止・いじめ問題教室(16日)

6年生が北海道警察の方を講師として招き、薬物乱用防止・いじめ問題についての授業を行いました。子どもたちは、真剣に話を聞き実際にあった薬物依存やいじめ問題の話聞く中で「絶対に薬物は使用しない」「いじめられたくないし、人をいじめない」という気持ちを強くもち、自分の存在の大切さを再認識していました。

